



第 14 回 標準処方研究フォーラム

～連続設備における管理戦略：実験データに基づく考察と提案～

第 14 回標準処方研究フォーラムを下記の要領で、現地（岐阜）にて対面開催をいたします。COVID-19 の感染拡大防止の観点から、2021 年には Web により第 13 回フォーラムを開催しました。その後、2022 年も感染状況を見ながら実験を実施し、その成果をまとめることができました。フォーラムにおいては、PMDA の高木和則先生より連続生産の実装に向けての行政側の観点での特別講演もお願いできることとなりました。

例年と異なり春の開催となりますが、久々の対面開催ということで、従来にも増して活発な情報交換、議論ができることを期待しています。奮ってご参加いただけますようご案内いたします。なお、パネル展示に関しても従来通り実施いたします。また、交流会は、従来通りとはいきませんが、交流の場を設定させていただく予定としています。

と き 令和 5 年 4 月 21 日(金) 10:00～

と ころ **じゅうろくプラザ**

〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 1 丁目 10 - 11

<http://plaza-gifu.jp/access.html>

主 催 (一社)粉体工学会 製剤と粒子設計部会

共 催 (一社)粉体工業技術協会 粒子加工技術分科会

参 加 費 主催・共催学協会員

会社関係 ￥ 13,000

大学・公立研究機関関係 ￥ 8,000

学生 ￥ 4,000

非会員 ￥ 20,000

振 込 先 金融機関 十六銀行 黒野支店

口座番号 (普) 1557481

口座名 製剤と粒子設計部会 標準処方フォーラム 代表 竹内洋文

(セイザ イリョウシツケイブ カイ ヒョウジ ユンショホウフォーラム ダ化ヨウ タクワヒロミ)

※ 恐れ入りますが振込手数料のご負担をお願い致します

申 込 方 法 ホームページ (<http://www.ppd-gifu.com/>) の参加申込フォーム、

または左記 QR コードからお申込み下さい



申 込 締 切 令和 5 年 3 月 22 日 (定員 140 名 定員になり次第締め切らせていただきます)

問 合 せ 先 粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局 松井智代

e-mail matsui-to@gifu-pu.ac.jp

☎ 080-9490-0689

パ ネ ル 展 示 展示費用 1 ブース ¥20,000 - 3 分程度の製品紹介あり

同 時 募 集 募集社数 10 社 (定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法 ご担当者名、メールアドレス、電話番号を事務局までお知らせ下さい

※展示ご担当者は、必ず参加登録をお願い致します

申込締切 令和 5 年 3 月 10 日 (金)

－プログラム－

10:00-10:05	開会の挨拶	竹内洋文（岐阜薬科大）
10:05-10:55	解説講演 連続生産の実装に向けて～行政側の視点より～	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医薬品品質管理部 高木和則
10:55-11:15	2022年度の立ち合い実験の概要 －これまでの検討概要及び本年度の検討目的(管理戦略)－	山田昌樹（シミック CMO）
11:15-11:45	製品紹介	展示各社
11:45-13:00	昼食 パネル展示	
13:00-13:30	連続造粒における動的特性の把握	寺田 敬（フロイント産業）
13:30-14:00	湿式造粒法連続設備における CQA の管理戦略	浅井直親（ダルトン）
14:00-14:40	連続生産における“混合～打錠”パートにおける品質管理	松井 航（パウレック） 岡田 佳祐（日本曹達）
14:40-15:10	直打法における連続設備の管理戦略	伏見伸介（菊水製作所）
15:10-15:30	コーヒーブレイク、パネル展示	
15:30-16:30	立ち合い実験のまとめ及び総合討論	谷野忠嗣（シオノギファーマ）
16:30-16:35	閉会の挨拶	砂田久一（名城大・薬）
16:35-17:45	交流会	

※ 交流会は、講演会場にて予定しておりますが、状況により変更または中止する可能性があります

※ 都合により、講演内容を一部変更させていただく場合がございます